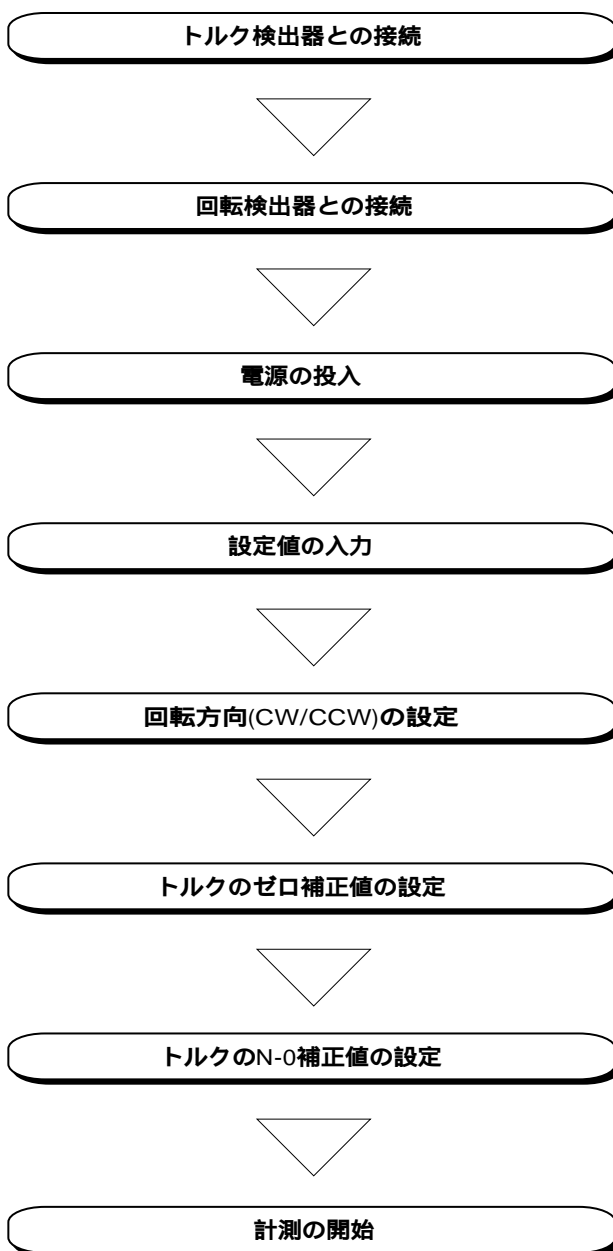

TS-2700 設定手順書

基本操作の流れ

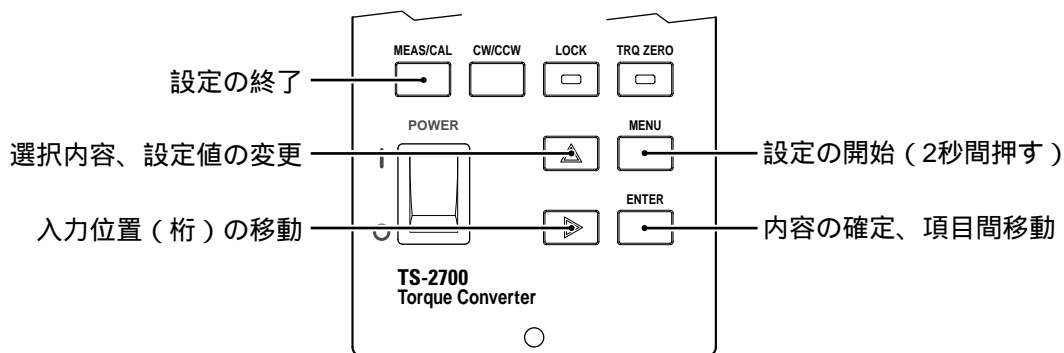


3.5 設定値の入力



初めてご使用される場合は、計測を始める前に「設定値の入力」が必要です。

前面パネルからの入力方法



- ・ MENUキー : 2秒押し続けると、設定モードになる
- ・ MEASスイッチ : 設定モードを終了し、測定状態になる
- ・ ENTERキー : (設定時には) 設定内容の確定および次の設定項目への移動
- ・ キー : 選択内容、設定値の変更
- ・ ▷キー : 入力位置 (桁) の移動



選択の項では、キーを押す毎に切り替わります。▷キーの桁選択は使いません。

設定項目一覧表

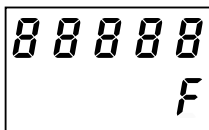
設定モードの最初の表示は常に となります。
 操作の詳細につきましては、「設定項目内容の詳細と操作」をご覧ください。

トルク キャパシティ



- ・ トルク検出器の銘板の値を入力
- ・ 単位は、パネルに付属のシールを貼付
- ・ 選択肢：1～9999

トルク ファクタ



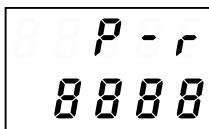
- ・ トルク検出器の銘板の値を入力
- ・ 選択肢：1～65535

回転 キャパシティ



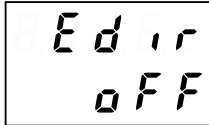
- ・ アナログ出力の回転数スケールを選択
 IE4選択時：0～10,000r/min / 0～10V
 IE5選択時：0～100,000r/min / 0～10V
- ・ 選択肢：IE4またはIE5

回転信号 パルス数



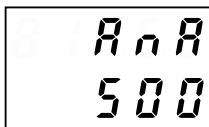
- ・ 回転検出器の1回転あたりの出力パルス数を設定
- ・ 選択肢：1～9999（SS型では60）

回転方向の外部入力

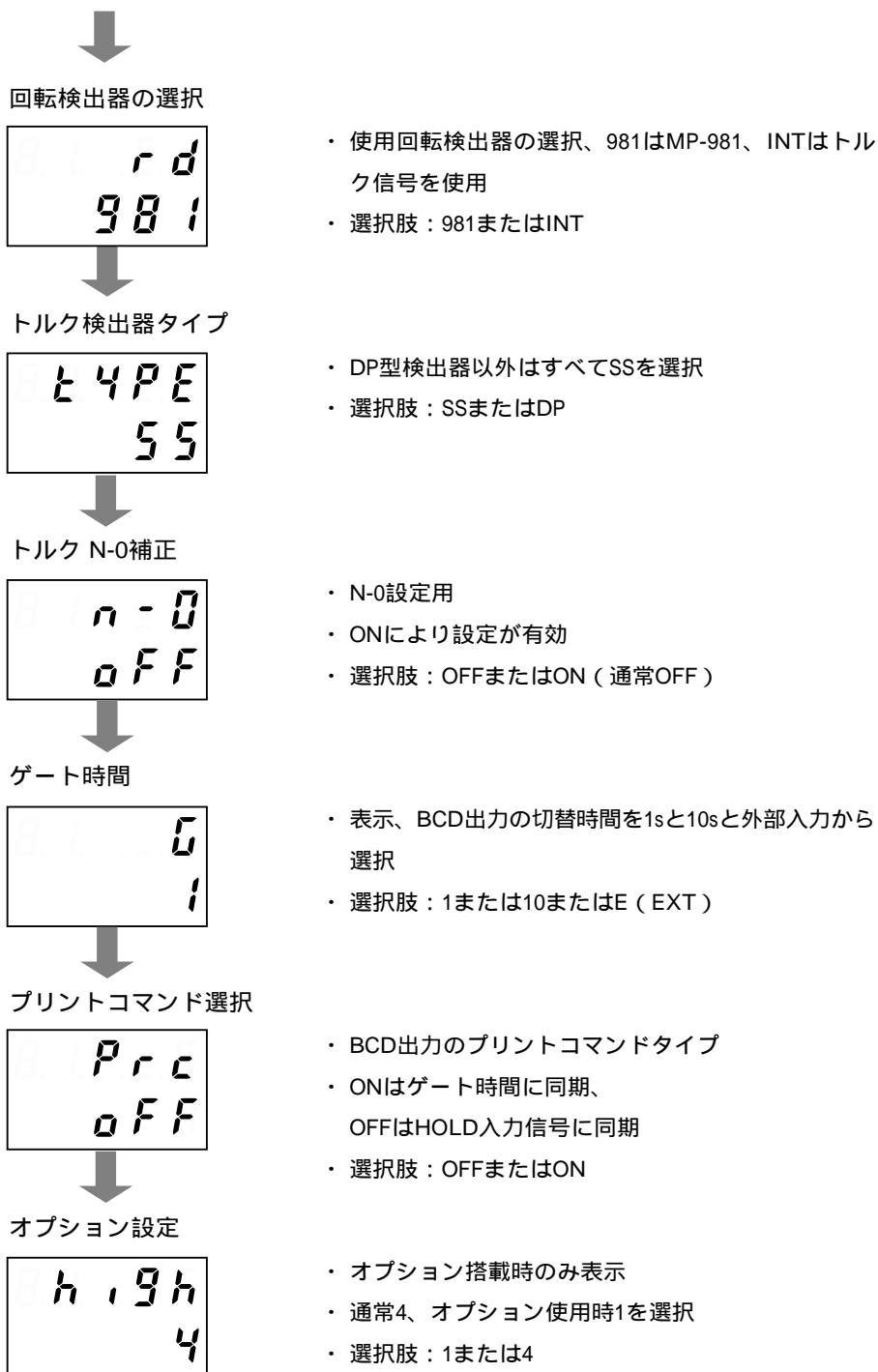


- ・ 前面パネルのCW/CCWスイッチを使うときはOFF、
 リモート入力で回転方向を指示する場合はON、
- ・ 選択肢：OFFまたはON

アナログ出力時定数



- ・ 500msと63msの切り替え
- ・ 選択肢：500または63



設定項目内容の詳細と操作

銘板の例 (SS-050)

TORQUE DETECTOR				
MODEL	SS-050	FACTOR	8086	120 P/R
CAPACITY	5N·m	RANGE	5	26
MAX. SPEED	6000	r/min	No.	05012345
PAT. No. 481850 481989 490762				
ONO SOKKI CO., LTD				
MADE IN JAPAN				
<small>注意事項 軸回転の切換スイッチは、駆動側に示された軸回転と同方向の矢印側に倒して下さい。 運転終了時には必ずAC100Vの電源を切して下さい。</small>				

FACTOR.....8086
CAPACITY.....5

トルクキャパシティ (CAPACITY)

トルク検出器の銘板に印字されている固有値 (CAPACITY) を設定します。

1未満の場合は、下表のように単位換算をして整数になるようにします。

SSシリ - ズと使う場合は、下表を参考にしてキャパシティを選んでください。

* 単位シ - ルの貼り付け

N・m以外の単位の場合は、付属の表示単位シ - ルを使用してください。

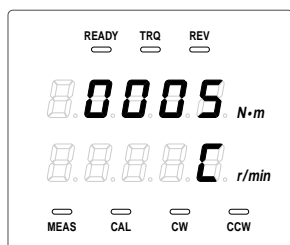
* MDシリーズなど他の検出器の場合も、上記を参照して1～9999の範囲内の数値を選択します。

上記銘板の例では、キャパシティは5ですが、5000も選べます。5000を選んだ場合は、単位表示部にmN・mのシールを貼って使います。

SSシリ - ズトルク検出器におけるキャパシティの設定例

型式 SS	トルク容量 Nm	キャパシティと単位		
		N・m	mN・m	kN・m
002	0.2	—	200	—
005	0.5	—	500	-
010	1	1	1000	-
020	2	2	2000	-
050	5	5	5000	-
100	10	10	-	-
200	20	20	-	-
500	50	50	-	-
101	100	100	-	—
201	200	200	-	—
501	500	500	-	—
102	1000	1000	-	1
202	2000	2000	-	2

MENUキーを2秒押し続けて、設定モードにします。

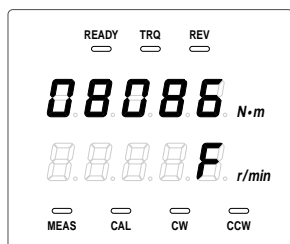


- ・入力できる部分のLEDが点滅
- ・▷キーで入力位置（桁）を移動
- ・キーで設定値を変更
- ・ENTERキーで確定、次の項目に移行
- ・設定例：0005N・m

トルクファクタ（FACTOR）

トルク検出器の銘板のFACTORに印字されている値を設定します。

FACTORは、トルク検出器の特性を数値化したもので、検出器により異なる値になります。



- ・入力できる部分のLEDが点滅
- ・▷キーで入力位置（桁）を移動
- ・キーで設定値を変更
- ・ENTERキーで確定、次の項目に移行
- ・設定例：8086



トルク検出器を校正または修理した時に、作業の内容によってはFACTORが変更になっている場合があります。

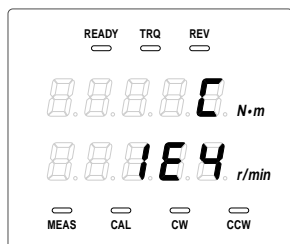
銘板または添付の試験成績書を確認して、正しい値を設定してください。

回転キャパシテ

回転アナログ出力のスケールに反映します。

IE4選択時：0～10,000r/min / 0～10V

IE5選択時：0～100,000r/min / 0～10V



- ・キーでIE4 / IE5を交互に表示
- ・ENTERキーで確定、次の項目に移行
- ・設定例：IE4

回転信号パルス数 (P/R)

軸が1回転したときに回転検出器から出力されるパルスの数を設定します。

トルク検出器の標準オプションで回転検出する場合は、下記1, 2を参照してください。

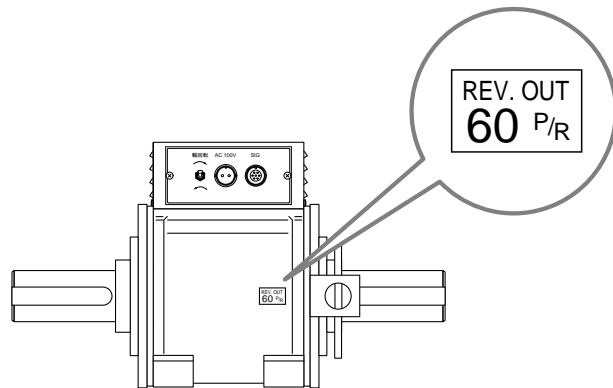
それ以外の場合は、回転検出部の仕様を確認して設定してください。

1. SS型・DSTP型・MD型のトルク検出器の場合は次の表のパルス数を設定してください。

トルク検出器の軸に取り付けた
回転検出機構を使用する場合は。

型名	回転検出用パルス数
SSシリーズ	60
MDシリーズ	120

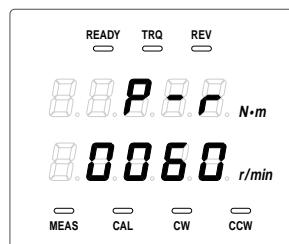
2. DD型・EZ型などの特殊仕様のトルク検出器の場合は、回転検出器の近くに貼ってある銘板に記載してあるパルス数を設定してください。



3. DP型のトルク検出器の場合は、次の表のパルス数を設定してください。

トルク検出器のSIG2を使用して回転測定しますので、回転検出器選択をINTにします。

型名	回転検出用パルス数	型名	回転検出用パルス数
DP-002	120	DP-101	120
DP-005	120	DP-201	120
DP-010	120	DP-501	120
DP-020	120	DP-102	180
DP-050	120	DP-202	180
DP-100	120	DP-502	180
DP-200	120	DP-103	180
DP-500	120	DP-203	300

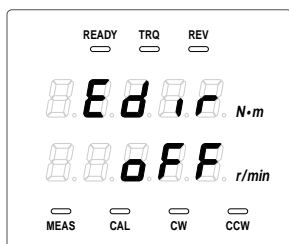


- ・入力できる部分のLEDが点滅
- ・▷キーで入力位置(桁)を移動
- ・キーで設定値を変更
- ・ENTERキーで確定、次の項目に移行
- ・設定例: 60 P/R

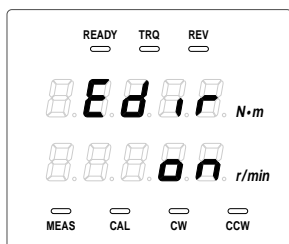
回転方向の外部入力

測定回転方向をリモート入力端子への入力信号で切り替える場合はONに、前面パネルのCW/CCWスイッチで切り替える場合はOFFにします。

詳しくは「3.6 回転方向 (CW/CCW) の設定」および「6. リモート機能の使い方」をご参照ください。



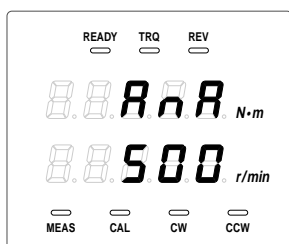
- ・ キーでOFF / ONを交互表示
- ・ ENTERキーで確定、次の項目に移行



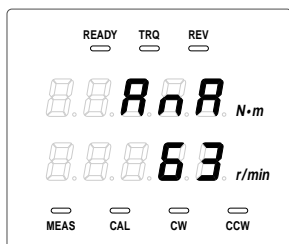
アナログ出力時定数

アナログ出力の時定数の選択を行います。

時定数については「4.3 時定数とは」をご参照ください。



- ・ キーで500 / 63を交互表示
- ・ ENTERキーで確定、次の項目に移行



回転検出器選択

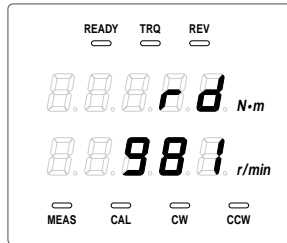
981：MP-981型回転検出器またはMDシリーズ用回転検出器使用の場合

背面パネルREV INへ入力する信号で回転測定する場合

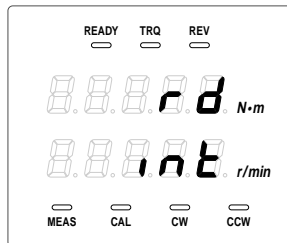
INT：トルク検出器のSIG2を使用して回転測定する場合

この場合の 回転検出用パルス数の設定値は、トルク検出器の銘板のP/Rの数値です。

詳しくは、「3.3 回転検出器との接続」をご参照ください。



- ・ キーで981 / INTを交互表示
- ・ ENTERキーで確定、次の項目に移行



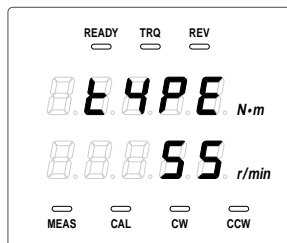
トルク検出器タイプ

SS：SSシリーズ、DDシリーズ、DSTPシリーズ、MDシリーズの場合

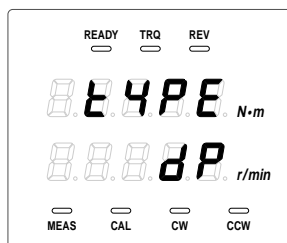
DP：DPシリーズの場合

DPシリーズは軸が回転していない時に信号を出力しません。DPを選択するとトルク信号入力の有無をREADY出力の条件から除外します。

詳しくは「6. リモート機能の使い方」をご参照ください。



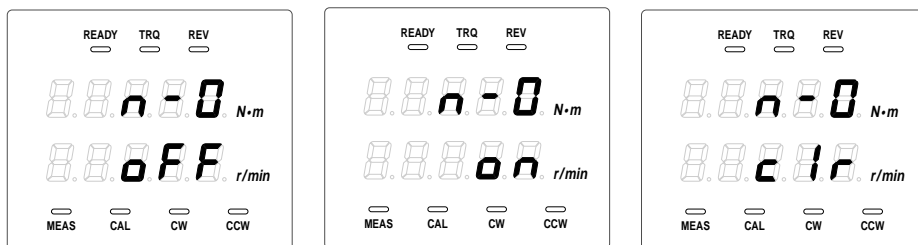
- ・ キーでSS / DPを交互表示
- ・ ENTERキーで確定、次の項目に移行



トルクN-0補正

初期設定はOFFに設定されています。

この機能の詳細は「3.8 トルクN-0補正」をご参照ください。



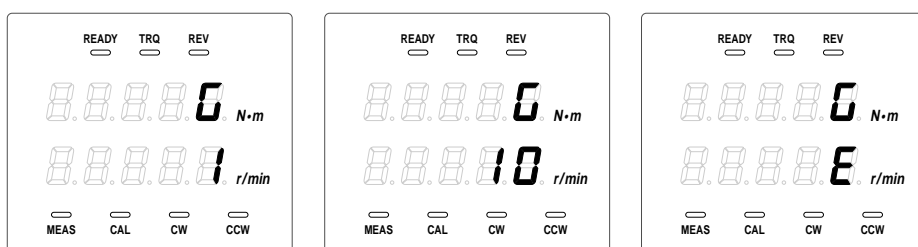
- ・ キーでOFF / ON / CLRを表示切替
- ・ OFF表示にしてENTERキーを押す
- ・ CLR表示にしてENTERキーを押すとメモリーに記憶しているN-0補正值をすべて0にすることができます。

ゲート時間

表示切替時間およびBCD出力の更新時間の選択です。

1秒、10秒または外部入力（EXT）が選べます。

外部入力（EXT）を使用の場合は、「6. リモート機能の使い方」のTRIG IN信号の入力間隔で表示切替・出力更新を行います。



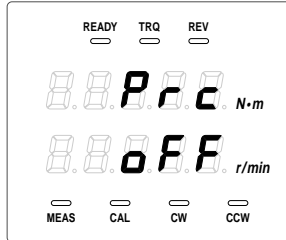
- ・ キーで1 / 10 / E (EXT) を交互表示
- ・ ENTERキーで確定し、次の項目に移行

プリントコマンド選択

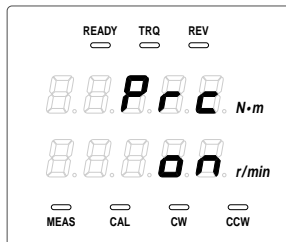
コマンドについては、「5.BCD出力の使い方」をご参照ください。

OFF : HOLD信号入力時のみプリントコマンドを出力

ON : のゲート時間ごとにプリントコマンドを出力



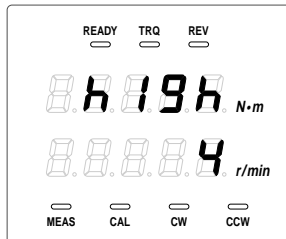
- ・ キーでOFF / ONを交互表示
- ・ ENTERキーで確定し、次の項目に移行



オプション設定

オプション搭載時のみ表示します。

通常（標準仕様）は4を選択し、オプション機能を有効にする時、1を選択します。



- ・ キーで4 / 1を交互表示
- ・ ENTERキーで確定、 の設定項目に移行

